

湖畔の風

★3地区合同 厄年祓い

2月5日（日）振興センターにおいて、津島神社（小山田）の宮司 吉田健弘さんにより田瀬地区合同の厄祓いの儀（厄除け）が執り行われました。

厄年は男性42歳、女性33歳など、人の一生の中でも、体力的、家庭環境的、或いは社会的にそれぞれ転機を迎える時期で、災厄が起こりやすいと言われています。

災厄から身を護るため、厄祓いの儀が行われました。



今年は3地区合同で行われたので、当会議の菅原会長も出席し、玉串の奉奠を行いました。



●令和5年春の全国火災予防運動がはじまります。

毎年3月1日から一週間、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。

春は空気が乾燥し、風のつよい日が多く、小さな火種から大きな火災になる危険性がありますので、特に警戒が必要な季節となります。

火災の多くは、ちょっとした油断や不注意によって発生しています。火の元・火の取り扱いに十分注意し、使った火は必ず消えるまで見守りましょう。

- **実施期間** 令和5年3月1日(水)から3月7日(火)までの7日間
- **防火標語(2022年度全国統一標語)** 「**お出かけはマスク戸締り火の用心**」



問い合わせ
花巻市消防本部予防課
0198-22-6123

★令和4年度保険福祉事業 健康教室

保健福祉事業として健康教室を開催しています。1月25日（水）から毎週水曜日、6回の予定で行われ、毎回15名ぐらいの参加者で行っております。

講師は、花巻市の生涯学習講師・冨手京子さん（花巻市湯本在住）です。冨手さんは日本3B体操協会公認指導者等の資格をお持ちで、音楽に合わせて楽しく体を動かすことを基本に、ストレッチや筋肉トレーニングを組み合わせる指導をいただいています。また、「コグニサイズ」といって頭と体を動かして認知症を予防する体操もやります。手と足の動きが別々だったり、右手と左手と始まりが違う数え方だったり、途中でリタイアすることも。出来なくても大丈夫で、やろうとすることで脳が活性化するそうです。他に水分の取り方、冬の時期の体の動かし方など、生活についてもお話をしてくださいました。とても雰囲気の良い楽しい教室です。



冨手京子先生：教室初日は前日の大雪で、湯本より1時間以上もかけてきてくださいました。



♪音楽に合わせて、ストレッチ



道具を使わないので、家でもできる運動です。



かかとの上げ下げ。
1日30回。骨を丈夫にします。

指先を使うことは、脳の活性化に良いということで、折り紙で風車、新聞紙でスリッパ、紙飛行機も作りました。誰が飛行機を一番遠くまで飛ばせるか、また風船をうちわで打ち合ったりしました。ゲームのようにすると知らないうちに体が動くものです。タオルやボール、うちわなどの道具を使うと、何も使わない時より体の可動域が広がります。但し、無理は禁物です。ご自分の体力に合わせてください。



異聞 田瀬の歴史 第15回

田瀬の贋金づくり

江戸時代末期、田瀬で贋金を造り処刑された男が居ました。その名を龍太といいます。

南部藩では、橋野鉄鉾山が国内でも有数の鉾山であることから、近くの栗林村に錢座を造っていて、ここで鑄造された「寛永通宝」は南部藩内でも評価を得ていました。

しかし、天保6年(1835)頃より江戸の錢座で「天保通宝」の鑄造が始まり、南部藩の錢座「寛永通宝」を鑄造していた職人は次第に仕事が少なくなって、ついに龍太も人員削減のあたりを受けて失業をしてしまい、やむなく故郷の黒沢尻に帰ることとなりました。

塩の道と言われた笛吹峠を越え、遠野を通過して野手崎に抜けようと宮守から田瀬に入って休憩をしようと足を止めた龍太は、農作業をしていた村人たちの姿があまりにもみすぼらしかったので数日農作業を手伝うことにしたのです。

この時、村の娘・カルと深い仲になり、故郷の黒沢尻に帰ったからと言って仕事があるわけでもなかったので、そのまま居ついてしまいました。カルは兄・鉄五郎と農作業をしているうちに、何とかこの貧しさから抜け出すことが出来ないかと考え、悪いこととは知りつつ大家の小作をしていて苦しい鉄五郎に贋金造りをもちかけたのでした。

鑄造に必要なものは、木炭、水力、鉄、鉛、砂、砥石などですが、幸いに山からの水は豊富で、砥森山には仕上げに必要な良質の砥石もあり、近くには鍛冶屋をしている徳司が居ましたので、鉄五郎は徳司に材料入手の協力を頼みました。徳司は仕事もあまりなかったので、しぶしぶ引き受け、人目を避けて深夜になって徳司の作業場に三人は集まり、龍太の指導の下で作業が続けられました。

龍太は、栗林の錢座から持ち出した古い寛永通宝の型に溶かした鉄を流し込む作業を始めましたが、徳司は鍛冶屋とはいえ錢座の仕事の経験がないのですからうまくできるわけがありません。一カ月たっても贋金は出来上がりません。

肝いりに見つかる

そのうちに、徳司と同じ部落で肝いりをしている源助が夜中まで灯りがついている徳司を不審に思い、ある夜、徳司を訪ねて三人の作業を見つけてしまいました。そうすると源助は肝いりの立場上、三人の作業の内容を問い詰めて贋金造りをしていること白状させました。しかし、一カ月以上もかかっても完成した贋金はなかったので、これをお上に報告をしないで、以後このようなことをしないよう三人を諭して辞めさせたのでした。

しかし、龍太はもう少しで出来そうだったので、今辞めてしまうのは惜しいと山中の岩穴に作業場を造り、ひそかに贋金の鑄造を始めました。何回も繰り返して鑄型に鉄を流し込んでいくうちに何枚かの寛永通宝が出来ました。これを完成するには偽の寛永通宝の表面を砥石で摺る作業が必要でした。その砥石は目の細かいものでなくてはなりません。砥森の砥石の中にはそれに適したものがありました。

しかし、悪いことはできないもので、もう少しで完成だというときに、隣部落の肝いりの巳之助が風聞を耳にして山の中の岩穴を見つけ出し、夜中に作業をしている三人を見つけ、その所業を厳しく問いただしました。隣部落とはいえ徳司や鉄五郎とは顔見知りでしたので生活が苦しい事情はよく知っていましたから、この土地から罪人などだしたくありませんでしたし、まだ贋金が完成したわけでもなかったので、巳之助も源助と同じように、このことはなかったことにするからと翌朝に作業場にしていた岩穴を埋めさせてしまいました。

(次回に続く)



ウィキペディア
フリー百科事典 より



田瀬振興センターひなまつり



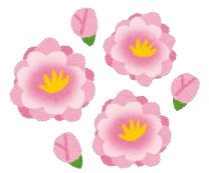
今年も、にぎやかに振興センターの玄関にひな壇が飾られました。40年くらい前のもので、7段飾り、お人形のお顔も優しく、お道具もきれいです。

3月中旬までは展示しておきますので、ご覧になりたい方は振興センター開館中においでください。

《振興センター開館時間》

月曜日～金曜日

午前8時30分から午後5時15分まで



3月の行事予定

- 健康体操教室（第6回）3月1日(水)
- チェンソー安全講習（第3回）3月4日(土)

4月の行事予定

- ・令和5年度総会・役員会



※新型コロナウイルス感染状況などにより、変更になることがあります。ご了承ください。

田瀬地区の人口

（令和5年1月末現在）

行政区	世帯数	人 数			比較 (12月末)
		男	女	計	
田瀬第1	68	81	91	172	—
田瀬第2	29	32	35	67	—
田瀬第3	72	75	88	163	—
計	169	188	214	402	—

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで